

活動レポート

地域産業研究会

平成19年度 総会・特別講演会

1. はじめに

2007年3月23日に平成19年度 地域産業研究会総会並びに講演会を(株)ドーコン会議室において開催しました。

総会では、須川技術士を議長に選出し平成19年度の役員の改選が提案・承認されました。その後、①全体行事として「食の討論会」「現地見学会」②分科会活動として「エゾシカ分科会」「地域活性化分科会」の順に平成18年度の活動経過と平成19年度活動計画が各代表者より報告されました。

2. 平成19年度総会報告

(1) 新役員

- 会長 伊藤 恒雄 (農業/総合)
- 副会長 板垣 恒夫 (森林)
- 幹事長 今井 淳一 (建設)
- 幹事 五十嵐敏彦 (建設/応用理学/総合)
- エゾシカ分科会座長
- 柴田 登 (建設)
- 地域活性化分科会座長
- 岩崎 元彦 (農業/総合)
- 鎌田 貢次 (農業/総合)
- 住友 寛 (農業/総合)
- 豊谷 勝雄 (応用理学/総合)
- 橋本 昭夫 (衛生工学/資源工学/総合)
- 細川 康司 (建設/総合)
- 渡辺 千春 (農業)
- 会計 小林 一弥 (農業)

(2) 食の討論会

【第3回 食の討論会】

- 日時：2006年6月16日(金)
- ・講師：小磯修二氏 (釧路公立大学教授・釧路公

立大学地域経済研究センター長)

- ・テーマ：地方発環境再生ベンチャー企業の挑戦

【第4回 食の討論会】

日時：2006年11月14日(火)

- ・講師：小谷栄二氏 (ファームエイジ(株) 代表)
- ・テーマ：新たな食と農業への挑戦

(3) 現地見学会

2006年10月13日(金曜日)に参加者9名により、循環型社会の構築に向け取り組んでいる札幌近郊の「リサイクル施設」の視察見学会を実施。

- a) まちむら農場 (江別市篠津)
- b) 株式会社マテック (石狩新港)
- c) 株式会社K&K (石狩新港)

(4) エゾシカ分科会

a) 2回の分科会活動

第32回 分科会 (エルプラザ)

議題：エゾシカに関わる話題と討議

- ①釧路支庁主催「エゾシカの生体捕獲に関する報告会」
- ②北海道猟友会との懇談
- ③寿都町の「養鹿による地域振興策」

第33回 分科会 (北4条ビル)

議題：エゾシカに関わる話題提供と討議

- ①道作成の「エゾシカ衛生処理マニュアル」「エゾシカ有効活用ガイドライン」
- ②エゾシカ協会主催「エゾシカフォーラム」
- ③寿都町の「養鹿事業計画」の動向

(5) 地域活性化分科会

a) 分科会定例会

2006年5、7、9、11月、2007年1、3月の5回

開催。

議題は、その時々各グループの活動報告と活動予定を中心に、その他、新たな活動についての取組みなどについて積極的に討論を実施。

b) 寿都町への現地調査と交流

5月、8月、10月の3回実施（8月はRS教育サポートとの補助兼）。

c) 新たなテーマに関する活動

○健康・循環型社会班の発足と活動

2006年10月に班が発足し、11月の札幌リサイクルセンター見学会、12月、2007年2月に定例会を開催。

○ハマボウフの調査研究

豊富町のハマボウフ栽培農家に現地調査、ハマボウフに関する研究報告の収集分析を実施。

以上の活動経過報告と、平成19年度も引き続き積極的に活動を計画（具体的活動内容は、4月以降に各幹事会、定例会において策定）することが報告されました。

(6) 平成18年度決算・平成19年度予算

平成18年度予算(43万円)に対し、409,667円の決算報告と平成19年度予算案として平成18年度予算と同額の43万円を計上することで承認されました。

3. 特別講演会報告

講演会は総会に引き続き、講師に有限会社プランニング・フォー・ザ・フューチャー代表の津島慧氏を招いて

「山河あり」ふるさとに夢をかけた男・中田鉄治と題して講演会とビデオ映像の上映及び質疑が行われました。

津島氏は、北海道開発コンサルタント株式会社(現

㈱ドーコン)から1988年9月より夕張市に出向し、夕張市長付開発参事、ゆうばり国際映画祭実行委員会札幌事務局長を歴任し、1992年に㈱ドーコンを退職、2004年5月に「ゆうばり国際映画祭実行委員会」を退任するまで、夕張と共に歩む人生をすごしてきた方です。

① プロローグ

- 1) 自己紹介「私が夕張でやってきたこと」
- 2) 炭鉱城下町が作り出した夕張という町の風土
- 3) 「新生夕張づくり」に命をかけた、前夕張市長中田鉄治という男

② ドキュメンタリー映像

「ふるさとに夢をかけた男・中田鉄治」(VHS)

③ 「新生夕張づくり」を顧みて

- 1) 炭鉱都市が抱える暗いイメージの払拭と炭鉱施設の整理
- 2) 逆転の発想と緻密な戦略で創り上げてきた新産業おこしと人脈
- 3) 夕張はこれからどう進むのかが勝負の3部構成で講演が行われました。

講演後の質疑では、夕張の現状やこれまでの取組みについての津島氏の考え方や、前夕張市長中田鉄治氏が残したものの、その資産と負債とこれからどう夕張市民が向き合うのか?などについて意見交換をおこないました。

最後に津島氏は私たちに、今回の講演で少しでも皆さんが夕張のこれまでの歩みを知って、そして是非夕張を訪れて欲しい。夕張で1日でも、1時間でも多くの時間を過ごし、たくさんの夕張を観て欲しい。そして感じて欲しい。

皆さんが夕張の現状を感じ取って、これからの夕張をどうしていくことが、住民にとって良い方向に進めるのかを提案して欲しいと結ばれました。

(文責：地域産業研究会幹事長 今井淳一)